

記入例【申請する全ての方】

学校へ提出する年月日を

※お願い

ボールペン等で記入してください。

えんぴつやインクが消えるボールペンは使用しないでください。

年 月 日

北海道公立高校生等奨学給付金受給申請書

保護者等の氏名を記入してください。

北海

保護者等がない場合は、生徒本人の氏名を記入してください。

します。

【1. 申請者について】

ふりがな	ほっかい いちろう	申請者の電話番号
申請者氏名	北海 一郎	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
申請者住所	〒060-8544 北海道札幌市 北区 中央区北3条西7丁目	
高校生等との関係	親権者 本人 訂正する場合は二重線で消してください（訂正印の押印は不要です）。	

【2. 対象となる高校生等について】

ふりがな	ほっかい たろう	氏 名	北海 太郎	生年月日	昭和 平成 令和	〇 年 〇 月 〇 日
基準 在学日 現在 に 学 校	学 校 名	北海道〇〇高等学校				
		国 立 ・ 公 立 学校 第 2 学年（年次）				
		学校の種類・課程・学科：高等学校（全日制）				
	学校の所在地	北海 都道府県 〇〇 市区町村 〇〇〇〇				
	在学期間	令和8年4月1日 ～ 現在 （ 年 月 日 ）				
	奨学給付金 受給回数	1 回（昨年度までに奨学給付金を受給した回数）				
過 去 の 高 等 学 校 等 に お け る 在 学 期 間	学校名	〇〇県立〇〇高等学校	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数	
				高等学校（全日制）	なし 1回 2回 3回 4回 不明	
					☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐	
	学校名			学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数	
					なし 1回 2回 3回 4回 不明	
					☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	

【3. 同意事項について】

申請書の提出に当たり、次の事項について同意します。（次の内容を確認の上、□全てにレ印を付けてください。）

- ☒ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- ☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、北海道の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☒ 全ての項目に該当することを確認の上、レ印を付けてください。
- ☒ ※1つでも該当しない項目がある場合は、給付対象となりません。
- の受給状況、道府県民税所得割及び市町村民税所得割額の課税状況、その他北海道教育委員会教育長及び教育局長が必要と認める事項について、関係機関（行政機関及び高等学校等）へ照会等の調査を行うことに同意します。
- ☒ 保護者等又は高校生等が、この給付金とその目的を同じくする北海道が実施する次の給付金は給付されていません。
- (1) 高等学校定時制課程教科書給与事業及び通信制課程教科書学習書給与事業
- (2) 北海道アイヌ子弟進学奨励補助制度
- ☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く。））の支弁対象ではありません。

【4 保護者等の収入の状況について】

記入例【生活保護を受給している方】

(1) 生活保護受給世帯の方

・次の内容を確認の上、□にレ印を付けてください。



生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることがわかる証明書を添付します。

※様式第2号又は生業扶助（高等学校等就学費）の措置状況が確認できる『生活保護受給証明書』を提出してください。
生業扶助を受給している場合は、以下、記載は不要です。

レ印を付けてください。

以下、記入不要です。

※生業扶助（高等学校等就学費）の措置状況が確認できる証明書を添付してください。

所得割額が非課税～合算額が

てください。

①



保護者（親権者）が2名存在する場合

・生徒が未成年（18歳未満）であり、保護者（親権者）が2名存在する場合

②



保護者（親権者）1名分（親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、それを除く。）

・離婚、死別等により保護者（親権者）が1名の場合、

・保護者（親権者）が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、保護者（親権者）の1人の課税証明書等を提出できない場合 等

③



未成年後見人（ ）名分

親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分）

※ 未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、それを除く。

④



生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）（両親等）2名分

生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がある場合

⑤



主たる生計維持者1名分

・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、

・成年に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等

⑥



高校生等本人

親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

イ 次の理由により、課税証明書等を提出しません（※添付省略の場合を含む）。

①



所得確認の対象が高校生等本人（親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合）であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていないため。

②



就学支援金の申請・届出の際、既に保護者等の課税証明書等を北海道教育委員会に提出しているため、提出を省略します。

※ただし、就学支援金の申請・届出の際、既に保護者等の課税証明書等を北海道教育委員会に提出しているため、提出を省略します。

省略できるのは、令和8年度に新たに申請し、課税証明書等を提出している方のみです。

② (2)に該当する場合は、次の内容を確認の上、□にレ印を付けてください。



私の世帯は、7月1日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助は受給していません。

記入例【申請する全ての方】

【5高等学校等就学支援金等の支給決定通知の添付について】

(高校生等の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次に該当する場合は、□にレ印を付けてください。)

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

☒ 高等学校等就学支援金等の支給決定通知書を添付します。

レ印を付し、先にお渡ししている「①高等学校等就学支援金の受給資格認定について」又は「②高等学校等就学支援金の支給額について」のいずれかを提出してください。

【6高校生等の国籍・在留資格・在留期間等について】

(次のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。)

(1) 高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します。

① ☒ 日本国

② ☐ 日本国以外

「日本国」の方にレ点を付してください。
なお、日本国籍の方は(2)以降の記入は不要です。

(上記(1)で②「日本国以外」を選択した場合は、次の③～⑨のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。また、必要事項を記入してください。)

(2) 高校生等本人の国籍・在留資格・在留期間等を確認するため、以下のとおり申請します。

③ ☐ 特別永住者

④ ☐ 永住者

⑤ ☐ 入国後1年以上経過した外国人

⑥ ☐ 入国後1年以上経過した外国人

⑦ ☐ 入国後1年以上経過した外国人

⑧ ☐ 入国後1年以上経過した外国人

⑨ ☐ 入国後1年以上経過した外国人

【7高校

(生徒の

高校生等

① ☐

② ☐

③ ☐

④ ☐

以下

・令

・引

・国

・

課

(在留資

・ 6 (

・ 6 (2

⑤ ☐ 「日本

⑥ ☐ 「日本国の中学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証書」を添付します。

記入不要